

テーマ 第5回アジアパラ競技大会について(ご意見一覧)

資料7

組織	内容
<p>社会福祉法人 名古屋ライトハウス 情報文化センター</p>	<p>情報提供について、視覚障害者は、情報を得ることが難しいため、点字版や音声版の充実、アクセシビリティに準拠したホームページの作成などを検討していただきたい。</p> <p>会場のスタッフ・ボランティアさんには、単独で来場される視覚障害当事者にも対応できるように、声掛け・ガイドも含めた接遇研修を行ってほしい。</p>
<p>公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会</p>	<p>移動において、物理的なバリアと情報面でのバリアがある。</p> <p>情報面でのバリア解消を。</p>
<p>福井県</p>	<p>不特定多数が利用するような大規模な施設においては、障がい者や高齢者等に迂回による過度の負担が生じないように、バリアフリールートの複数化を進めることが必要であると考えます。</p> <p>また、テーマにある競技大会には、障がいのある選手が多数参加することから、周囲の宿泊施設等において、バリアフリーに対応した客室が設けられていることが求められます。会場となる名古屋市では、本大会を見据え、宿泊施設のバリアフリー化を補助する事業を行っていることを知りました。このように、会場だけではなく、周囲の環境のバリアフリー整備が整っているかどうかを検討することは大変重要であると考えます。</p>
<p>中部国際空港株式会社</p>	<p>アジア・パラ競技大会は、名古屋・愛知のプレゼンスを高める絶好の機会であると考えております。大会の成功に向けて、いち公共交通を担う事業者として是非皆様と連携したく考えております。利用者のシームレスな移動を実現するうえで、事業者の種別・垣根を超えた「共通達成事項」のようなもの(大会までに各事業者が達成すべき事項)などを策定のうえ、展開頂きたく存じます。</p> <p>また、大会に向けた各事業者さま独自の取り組みについても参考にしたいと、可能な範囲でご共有頂けると幸いです。</p>